

Hiroshima University Hospital

YHRP Museum

広島大学病院 YHRPミュージアム



天 啓

REVELATION

M a s a a k i N o d a

野田正明

2018年11月29日

美術館前庭にモニュメント 「天啓」の設置

原田 康夫

YHRP美術館館長
広島大学名誉教授



11月29日ニューヨークを中心に世界で活躍中の野田正明氏のモニュメントの除幕が行われた。題は「天啓」でステンレスの彫刻作品である。野田氏と私との関わりは、前中国新聞の川本一之社長さんが、広島市現代美術館に同行し、館長の私に紹介して下さった。そのご縁で、2010年にギリシャで1700キロに及ぶ大旅行をしたことに始まる。

野田正明さんは福山市の出身で、福山には駅前にモニュメント「いまこそ未来」があり、他にも10ヶ所にモニュメントがある。

野田さんの作品は、アメリカ、ニューヨーク、ギリシャのアテネだけでなく、マラトン、デルフォイ、ラフカダにもモニュメントがあり、世界的に活躍している広島県人アーティストである。

今回のモニュメントはステンレスで出来ていて、朝日に輝き、夕日に赤く染まり、YHRP美術館の白亜とマッチして霞地区の景観を醸すことになるであろう。

除幕は木内病院長、野田正明、川本一之前中国新聞社長、野田邦雄、野田金属工業株式会社社長 海生能子国際ソロブチミスト呉会長、原田康夫で行った。

広島大学病院 YHRPミュージアム

「YHRPミュージアム」は、全国でも珍しい大学病院内の美術館で、収集家から約1,300点の作品を譲り受けた、本学元学長の原田康夫先生が建設し、作品とともに本院へ寄贈されました。ニューヨークにあるグッゲンハイム美術館を思わせる、螺旋回廊を歩きながら作品を鑑賞でき、2階の回廊には患者さんのリハビリになるよう、ゆるい傾斜をつけています。館内には、ポーランドの芸術家、レシェック・ノヴォシエルスキの陶板画「ノーモア・ヒロシマ」のほか、收藏するヨーロッパ絵画等の作品のうちから、約80点を展示し、定期的に展示替えを行います。「YHRPミュージアム」のYHRPには、Y=やすらぎ、H=平和、R=リハビリ、P=ポーランドの意味が込められています。

〈所在地〉広島市南区霞1-2-3

略 歴

- 1949年 広島県福山市新市町生まれ
- 1972年 大阪芸術大学美術学科卒業、在学中に大阪信濃橋画廊にて初の個展。
- 1976年 モダンアート協会展で大阪市長賞受賞、東京、大阪の美術館巡回
兵庫県立美術館主催新鋭作家展「アートナウ」に選ばれる。
- 1977年 アートの中心ニューヨーク・ソーホーに活動の場を移し、
ニューヨーク・アート・スチューデント・リーグで奨学金を受け81年迄学ぶ。
※ニューヨークを中心に、ワシントンDC、テキサス、シカゴ、マサチューセツ、
ペンシルバニア、「ヨーロッパ」フランス、ギリシャ、「アジア」中国、台湾「国内」
東京、名古屋、京都、大阪、岡山、福山、広島で個展を開催。アメリカ、ヨーロッパ、
中国、日本の国際アート展など、これ迄400以上の展覧会に出品、受賞多数。
※2013年ニューヨーク、アート・スチューデント・リーグ創設137年の記念本「Time
Line」が刊行され歴代作家の代表の一人として掲載される。
※アメリカ、ギリシャ、中国、台湾、日本各地でアートと文化について講演を行う
- 1982年 ニューヨーク・セントラル・パークにてアメリカ・オランダ友好200周年記念
「国際空中彫刻の交響」展の招待作家として10Mの空中彫刻を空中に浮かべる。
- 1997年 京都府「宇治駅」に平等院を象徴した大型ステンドグラス
2.35×6.6M 2×5.05M「飛翔 去来流転、天空昇」1-2階に設置
- 2000年 福山市新市町ヘランドマークとなるステンレス彫刻
「飛翔Ⅱ 時空を超えて」6MH 設置
- 2002年 新市町、戸手高等学校へステンレス彫刻
「飛翔Ⅲ ドリーム・キャッチャー」5.3MH 設置
※紙上の1世紀展、アート・スチューデント・リーグ100年間の歴代卒業生代表100名
の作家の一人として招待される。ニューヨーク
- 2003年 中国深圳市、深圳美術館へ「日中平和友好条約締結25周年記念」に
招待を受けモニュメントステンレス彫刻「飛翔Ⅵ 天空昇」5.3MHを永久設置。
同美術館で日本人初の「30年の画業」個展開催、深圳市を挙げて歓迎を受ける
※ひらの保育園「飛翔Ⅴ リュミナリー」3.5MH 神辺町へ設置
- 2005年 ギリシャ国家代表文化機関でアポロ神殿隣に位置するデルフィー・ヨーロッパ文化
センター彫刻公園にステンレス彫刻「アポロの鏡」3.8MHを永久設置。
古代ヨーロッパが世界の中心と考えた「聖地」にアジア人初の作品。
※同時にデルフィー・ヨーロッパ文化センターで個展開催。
- 2006年 ふくやま美術館で個展「ニューヨークからのメッセージ」35年間の足跡を展示。
- 2008年 福山市中央図書館へ大型壁画「超越境界」2.5×7.5M
硝子彫刻「追跡」0.3MH 「サブライム」0.8MH 設置
- 2009年 アテネのギリシャ・アメリカン大学へ小泉八雲ことラフカディオ・ハーンを象徴
するステンレス彫刻「ラフカディオ・ハーンの開かれた精神」4MHを永久設置、
同校のシンボルとなる。
※ふくやま美術館庭へステンレス彫刻「創生」3MH 設置。
- 2010年 ギリシャ国家記念日「マラソンの闘い2500周年」にマラソン市長の依頼を受け、
マラソンスタジアムにステンレス彫刻「ヘルメスの精神」5MH
紀元前450年の遺跡隣に設置、アテネ・マラソン、スタート地点シンボルとなる。
※「ギリシャ・アメリカン大学」姉妹版となる彫刻「ラフカディオ・ハーンの開かれた精神」
2.7MHが松江市宍道湖畔に設置され小泉八雲のシンボルとなる。同時に重文松江城
天守閣（現国宝）で小泉八雲をテーマにしたアート展が世界各国の作家と開催
される。
- 2011年 広島市現代美術館彫刻公園へ
ステンレス彫刻「疾風・フラッシュバック」3.85M 設置。
※福山市立大学校内正面窓へ装飾合わせ硝子作品「進化」4×1.4M
図書館扉へ「探求」2.3×2.8M 設置

- 2012年 「福山市市制施行95周年記念」で福山駅前に市のシンボルとして
ステンレス彫刻「いまこそ未来」7.15MH 設置
※福山市、こころの病院改築記念、石の彫刻「セレニティー」3.35MH、装飾合わせ硝子
「永遠の共鳴」2.7×3M 5層3-7階、受付パティオ「新生」0.8×3M 設置。
- 2014年 ラフカディオ・ハーンの生地ギリシャ、ラフカダのレフカス文化センターに
ハーンの没後110周年記念として彫刻
「ラフカディオ・ハーンと開かれた精神のオデュッセイア」2.2MH 設置
- 2015年 「ニューヨーク日系人会」新館オープン記念に彩色壁面彫刻「光彩」1×1×0.8M 設置
※シギヤ精機100周年記念としてステンレス彫刻「無限の可能性」
4MH 設置、福山市
- 2016年 「福山市市制施行100周年記念」として福山市かんなべ市民交流センターに彩色、
壁面彫刻「啓発」1.8×2×1.2M 設置
※ふくやま美術館
「野田正明の世界・ニューヨークから世界へ」個展開催
- 2017年 春の叙勲、紺綬褒章受賞
※ニューヨーク・アメリカ版画協会、名誉賞受賞
※広島文化賞受賞
- 2018年 ニューヨーク・ギリシャ総領事館で「螺旋の交合 1995-2018」個展開催
※ニューヨーク・ギリシャ総領事館内に、ステンレス彫刻「上昇」1.7MH設置
※YHRPミュージアムの開館記念として、
広島大学病院内へステンレス彫刻「天啓」4.1MH設置

現 在 オーデュボン・アーティスト協会、版画部門ディレクター、ニューヨーク
アメリカ版画アーティスト協会、委員、ニューヨーク
アメリカン・アーティスト同盟、委員、ニューヨーク

協力：原田康夫 野田金属工業株式会社 海生能子
撮影：飯森広明



REVELATION 天啓 Stainless Steel with Black Granite Stone Base 4.1MH